

高齢者のアセスメント（まとめ）

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

（1）利用者の思い

高齢者の自立支援を目指した日常の取り組みは、利用者の思いと深い関係にあり、それをどう理解するのかが必要になってきます。それが尊厳の保持でもあります。

ケアマネジャーとしては、利用者の状況を的確に把握し、アセスメントすることが第一の重要な役割です。

（2）アセスメント

アセスメントは、利用者の生きてきた過去、現在、未来をどう的確に捉えるかにあります。

過去を整理するにあたっては、経済面、環境面、社会面、医療面、家族面等の中で何が重要な事項であったのかを捉えることが必要です。

（3）サービスの提供

サービス提供は、アセスメントを整理する時に問題点・課題を整理し、自立支援に対して何が必要なかを検討し決定したものであると思います。また、その視点についても明確になっていると思います。

（3）利用者の変化

利用者の変化については、サービスを実施する中で利用者の状態等を見ること、家族、事業者等にその内容を確認することで変化を捉えることができますし、変化が大であれば、話し合いも大切です。

ただし、時間的には速やかに取り組むことを前提とした、行動力が必要ですので注意してください。

（4）日常の調整

ケアマネジャーとして、日常の中で利用者等とどう関わりを持っていくかを明確にしていくことも必要です。

また、事業者等との日常の関係において、ケアマネジャーにどう届くのがカギになることが多いので注意してください。

（5）問題点・課題の整理

ケアマネジャーとして大切なことは、継続したものの見方であり、アセスメントをどう継続して捉えていくかが重要な一歩です。利用者の気持ち・思いにたって冷静に判断することを心がけていくことが必要であると思われま

